

学校教育目標
重点目標

「つながろう やりぬこう」
「すすんで やる子」

新しい年に向けて

校長 望月 秀一

いよいよ平成最後の年の瀬が近づいてきました。本年も、保護者や地域の皆様に支えられ、学校教育をすすめることができました。ありがとうございました。

さて、今年の漢字は“災”という字が決まりましたが、3年生の廊下には、子どもたちの思いがあふれた今年の漢字が掲示してあります。“夢”「新地名選挙で『空かぐや』になるようにがんばったり、今も自分の夢に向かってがんばったりしているから。”“勇”「新地名選挙で勇気を出して声掛けしたり、持久走大会も勇気を出して走れたりしたから。”“平”「2月に平昌(ピョンチャン)五輪があったり、今年で平成が終わり、新しい名前になったり、たくさんの思い出がいっぱいあったから」子どもたちの感性に心が和んだり、驚かされたりしています。この思いを大切に育てていきたいと思ひます。

8日にはふれあい祭りあり、保護者の皆様や大勢の方々にご来校いただき感謝します。今後の学校教育の方向性として、「覚えた知識を活用する力を育て、何ができるようになるかが課題だと言われています。」今回のお祭りは、学習で学んだことを生かした取組でした。2年生は、7月に地域のお祭りについて、杉山清春さんと川口悦治さんから学びました。杉山さんから雨乞い曼陀羅で使う竹太鼓の叩き方を教わったことと、音楽で学んだリズム打ちを生かして、お店作りをしました。3年生は、新地名選挙で学習したことを生かして、「空かぐやガイドマップ」を作り、マップに映画館、博物館、プールなど夢の町が描かれとても素敵でした。4年生は理科の「空気鉄砲」や自然クイズ。5年生は「パームテニス体験」6年生は歴史クイズなど、アイデアいっぱいのお店でした。きずな学級の二人の演技も学んだことを生かした劇で熱演していました。とても楽しそうに取り組めて見ている私たちも微笑ましくなりました。1年生の開会式後に行ったダンスは、全校児童に見せたかったと思ひました。教室は、秋となかよし美術館で飾られていました。真っ赤な葉を見て、作品に生かしたいと考えたのでしょうか。きれいなものを美しいと感じる心(感性)を大切にしたいと思ひます。また、いつも子どもたちの学習支援で大変お世話になっている今宮仲よし会の皆さんにも「昔の遊び」で出店していただきました。ご協力ありがとうございました。



最近の子どもたちの様子を見ていて、学校内外での遊び方を巡って問題となってしまうことがあります。自分の思いを優先する余り、相手の気持ちを考えらず、相手との距離感を保つことや、折り合いを付けていくことが難しいようです。かつては、子どもは体を使って外で思いっきり遊び、時にはけんかをしながらも、人のいたみや優しさに気付き、成長したものでした。これ以上やったら相手が傷つくとか減も覚えていきました。自分たちで仲直りもできました。五感を働かせて、遊び方も自分たちで工夫して、楽しく遊ぶこともできました。その姿こそ、本来の子どもらしさだと思ひます。時代は変わろうとも、子どもは分かりたい。出来るようになりたい。挑戦したい。その向上心は昔も今も変わらないと思ひます。ただ、変わってしまったのは、様々な経験をせずに育ってきている子が多いことです。今の子どもたちに必要なことは、本物にふれさせ、体験することだと思ひます。自分が身をもって体験したことが「思考力・判断力・表現力」を育て「生きる力」となっていくと考えています。

年末から年始にかけて、日本の伝統文化にふれる機会が多くあります。「やってみたい」という子どもの思いを少しでも実現させていただきたいと思ひます。「ひと・もの・こと」にふれる体験が子どもの心を豊かにしていきます。後10日余りで新しい年を迎えます。神戸地区の将来を担う子どもたちが、これからも健やかに成長できるよう、保護者、地域の皆様とともに教育活動をすすめて参りたいと思ひます。

来る2019年もよろしくお願ひいたします。少し早いですが、良いお年をお迎へください。

昨年度、インフルエンザにより学校閉鎖となつてしまいました。冬休み明けが心配ですので、できましたら、1月7日の登校より、マスク着用でお願ひします。ご理解とご協力をお願ひいたします。